

◆ 図画工作・美術科及び技術・家庭科 目指す子供の姿の系統表 ◆

北海道教育大学附属釧路小学校・中学校

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
9年間で目指す自律性が育まれた姿		表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な創造活動の基礎的な納力力を獲得し、表現していこうとする姿									
		表したいことに合わせて、造形的な要素の特徴や美しさを感じ創造していこうとする姿									
		造形的な要素の持つ意味を理解しながら、表現の工夫などについて考え、表すこと自体の価値を見いだしている姿									
		小) 第1学年及び第2学年	小) 第3学年及び第4学年	小) 第5学年及び第6学年		(中) 第1学年	(中) 第2学年	(中) 第3学年			
		・進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 ・身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにする。 ・造形活動を楽しみ、豊かな発想をすることで、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。	・進んで表したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 ・身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。 ・材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。	・創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 ・親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にしようとする。 ・材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。	・美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などにより表現の技能を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する。 ・自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める	・主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 ・対象を深く見つけ感じ取る力や想像力を一層高め、独自の総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。 ・自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術との関わりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。					
		・自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。 ・形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	・自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。 ・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。	・自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや興行きなどの造形的な特徴をとらえること。 ・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。					・形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること ・形や色彩などの特徴などを基に、対象のイメージをとらえること		
		・身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付けて作る姿 ・感覚や気持ちを生かしながら楽しく作る姿 ・並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせて作る姿	・身近な材料や場所などを基に発想して作る姿 ・新しい形をつくることと、その形から発想したりみんなで話し合ったりして作る姿 ・全学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ったりつないだり、形を変えたりするなどして作る姿	・材料や場所などの特徴を基に発想し想像力を働かせてつくることができる姿 ・材料や場所などに進んでかかわり合い、それらを基に構成したり、周囲の様子を考えて発想したりしながらつくることができる姿 ・前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしてつくることができる姿	・対象を見つめ、感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、それらを基に、全体と部分との関係などを考えて創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる姿。 ・目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ることができる姿。 ・他者の立場に立って、伝えたい内容についてわかりやすさや美しさや考え、表現の構想を練ることができる姿。	・対象を深く見つけ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、それらを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ることができる姿。 ・目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて形や色彩、図柄、材料などの組み合わせを総合化したりするなどの構成や装飾を考え、表現の構想を練ることができる姿。 ・伝えたい内容を伝えるために、形や色彩などの効果を活かして機能と美を考え、表現の構想を練ることができる姿。					
領域における自律性が育まれた姿		造形遊び	発想や構想に関すること		美術：技能に関すること		技術：材料の加工				
		絵や立体など									
		工作									
		鑑賞									

9年間で目指す自律性が育まれた姿

目標

小学校		中学校	
領域における自律性が育まれた姿	表現	造形遊び	発想や構想に関すること
		絵や立体など	
		工作	美術：技能に関すること
			技術：材料の加工
			鑑賞

単元における目指す子供の姿(A)とその姿を引き出すための手立ての視点(B)

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
<p>小学1年「のんだら〇〇ができる！ミラクルジュース、つくります！」</p> <p>A 濃淡の調節や混色をすることによって生まれた色を「多様な色」の感じの「色」の感じとして自覚し、自らの表現に必要な「色の感じ」を進んで選び、取り入れる姿</p> <p>B 【対話的な学び】</p> <p>他者の表現との「色の違い」や「イメージの違い」に注目し、交流できるような意図的なグループングをし、他者の表現をよさとして取り入れたり、自らの表現をよさとして自覚したりすることができるようにする。</p> <p>【「イメージ」と「色」との往来】</p> <p>「ミラクルジュースのメニュー表」を提示し、「メニューの文言」からイメージして色を照らし合わせるようにすることで「イメージから色」に「往く」道筋をつくり、これによって「色からイメージ」に「来る」こともできるようにする。</p>				<p>小学5年「詩やおはなしから広がる世界」</p> <p>A 「夜」をテーマに物語の一場面を絵に表す活動を通して、自分の「表したいイメージ」と表し方の関係性に気づき、造形的な見方や考え方を広げながら、自分のイメージに合う表し方を工夫して表している姿。</p> <p>B 【見方考え方を高める対話的な学び】</p> <p>造形的な視点に着目しながら、「表したいイメージ」と表し方の関係性に気づき、それらの視点を持った上で鑑賞や対話する活動を行い、他者の多様な表し方や思いに触れることで造形的な視野を広げられるようにする。</p>	<p>小学6年「墨で表す」</p> <p>A 墨で表すことに魅力を感じ、表したい思いをもとに、造形的な要素の特徴から、表したい思いと様々な表し方の関係性に気づき、自分の表したい思いに作品を近づけ、最後まで意欲をもってそれを実現させていこうとする姿。</p> <p>B 【見方考え方を高める対話的な学び】</p> <p>表したい思いをもとに表し方を工夫した作品を鑑賞し、比較分析しながら「表したい思い」と表し方の関係性に気づき、それらの視点を持った上で鑑賞及び対話の活動を行い、自分の思いを表すための技能等の選択肢の幅、造形的なよさや美しさを広く感じる取ることのできる視野などを広げられるようにする。</p>	<p>中学1年「moment by moment～化する影のある空間」</p> <p>A 目的や条件の中で、素材の特性に気づきながら他者と協力し、思い描いた表現の実現のために試行錯誤し創造的に表していく姿</p> <p>B 【対話的な学び】</p> <p>他者と対話しながら、形を複合しながら形成する際に、より美しく見えるための視点を共有し、その視点をどの程度調整することで、よりよい表現につながるかを考える。</p> <p>【表現と鑑賞の一体化した題材構成を行う】</p> <p>表したことを「みる」場を多く含んだ題材構成を行うことで、見方考え方を活用できることとし、鑑賞が表現と相互に働く工夫をする。</p>	<p>中学2年「MODERN KAKEJIKU」</p> <p>A 鑑賞作品から、構図や表現の意図を感じ取り、自己の表現に活かしていく姿。また、自己の感情を元に主題を生み出し、表現することの意味について考えていく姿</p> <p>B 【見方考え方を高める対話的な学び】</p> <p>造形的な視点として、掛け軸の縦長の画面に対するモチーフの構成や意図的な余白に着目し、主題を基に自己の想いをモチーフに投影し表現していくことにより、見方・考え方を活用して鑑賞教材を捉えれば、日本の美術には余白が存在している物が際立つような画面構成になっていることや、日本の暮らしの中での掛け軸の役割について気づく。視点から、余白の持つ意味について知識が増えることにより、生徒が表現したい主題を表すためには、モチーフの配置や大きさであることが適切であるかを検討できるようになり、さらには、鑑賞者の想起を膨らませる構図についての考え方がつながっていく。</p>	<p>中学3年「自分の時間結晶をつくる」</p> <p>A 中学校3年間の生活を振り返り、記憶や思い出をもとに3年間の時間を表す主題と形を生み出し、自分自身と創造することの意味について考えることができる姿</p> <p>B 【見方考え方を高める対話的な学び】</p> <p>個々の感情を元にした主題を表すために、いくつかの案を元に他者の見立てと自分の見立てについて考えを共有する。その際、今回新たに使う素材の質感や手のひらで握ることを想定して、どの調整していくことが、最適な表現に結びつか、試行しながら決定していく場を設定していく。</p>